

小野地区に関する情報

●世帯数及び高齢化率

※令和4年4月1日現在

地区名	年齢層	男性	女性	合計	世帯数
小野	15歳未満	349人	333人	682人	2,111 世帯
	15~64歳	1,532人	1,472人	3,004人	
	65歳以上	775人	1,008人	1,783人	
	合計	2,656人	2,813人	5,469人	
	高齢化率	29.2%	35.8%	32.6%	
	年少割合	13.1%	11.8%	12.5%	

小野地区社会福祉協議会の主な事業

(新型コロナウイルス感染症対策のため事業内容を変更する場合があります。)

【高齢者に関すること】

◎いきいきサロン（実施箇所：5箇所）

対象区域	サロング名	主な開催場所	主な開催日	主な開催時間
赤崎町	高齢者いきいきサロン	赤崎会館	第2木曜日	9:00~15:00
黒崎町	黒崎町ほたるサロン	黒崎町公民館	第2月曜日	13:00~15:30
小野島町	むつごろう倶楽部	小野島町公民館	第3木曜日	9:00~11:30
川内町	海津見サロン	川内町公民館	第4火曜日	9:30~12:30
長野町	山びこサロン	長野会館	第1月曜日	13:30~15:30

◎配食サービス（年2回）

- ◎80歳以上の高齢者への紅白饅頭等配付
- ◎ひとり暮らし高齢者の集い（年1回開催）



ふれあいと見守りを兼ねた配食サービス

【子どもに関すること】

- ◎新入学児童への防犯ブザー贈呈
- ◎チャレンジ小野っ子への参加
- ◎小・中学校修学旅行助成

【地域全般に関すること】

- ◎福祉協力員（設置人数：13人）
- ◎広報紙（年2回）
- ◎社会調査（「小野地区語らん場」での生活支援に関するアンケート調査）
- ◎各種団体へ活動助成金交付

（出典）令和3年度小野地区社会福祉協議会事業計画書

【問い合わせ】 小野地区社会福祉協議会（会長：永尾 久美子）

電話：(0957-22-0264 小野出張所内) 諫早市黒崎町 181-2

小野地区社会福祉協議会の活動は、小野地区的住民の皆様の会費及び寄付金等によって支えられています。また、その活動は住民のボランティアによって行われています。

活動に参加・協力いただける方をお待ちしております。

寄ってみんな かたってみんな この小野で

小野地区社会福祉協議会 地域福祉活動計画



小野地区大運動会での入場行進の様子



広大な小野平野



小野地区金比羅まつり



いきいきサロンと
保育園児との交流

計画期間：令和4年度～令和8年度

小野地区社会福祉協議会

小野地区の概要と現状

小野地区の概要

小野地区は、諫早市の南東部に位置し、長崎県内最大の平野である諫早平野と江戸時代から続く干拓により県内でも有数の穀倉地帶です。

諫早市で昭和43年に一番早く地区社協を設置し、福祉協力員制度も最初に設置するなど福祉活動を活発に取り組んでいます。大型商業施設の建設が予定され、転入者の増加が見込まれるなか、地区が大きく変わろうとしています。

昔からある隣近所とのつながりを大切に受け継ぎ、人と人とのふれあいや温もりを感じられる地域を目指しています。

地区の良いところ

- 住民同士、お互いによく知っていて対話できるため、地域のつながりが強く協力体制ができている。
- ふれあいいきサロン、若返り体操、グラウンドゴルフなどスポーツや文化活動が活発で、住民が気軽に集える場がある。
- 浮立などの伝統芸能継承や子どもと高齢者が触れ合う機会を通して、世代間の交流が行われ、人を思いやる地域性が引き継がれている。
- 老人会や婦人会などにより、ボランティア活動（花壇の花植え、神社の清掃等）を通じた地域への社会貢献活動が行われている。
- 地域の行事、催事（運動会や夏祭り、金毘羅祭りなど）が多く、地域の活性化につながっている。

地区の気になるところ

- 足が不自由な人やゴミステーションまでの距離が遠い人がごみ捨てに苦労している。
- 個々人の趣味活動の幅が広がっている一方、地域の活動に参加しない人が増え、地域のつながりが薄れてきている。
- 地域で活躍する団体の会員数が減り、役員など活動の中心となる担い手が減ってきている。



高齢者宛の絵手紙をつくる子ども達

小野地区社協の基本理念と重点目標

小野地区の基本理念

寄ってみんな かたってみんな この小野で



いきいきサロン

重点目標1 「いつまでも安心して暮らせるまち」

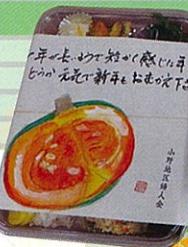
- 高齢者の生きがいづくりや地域のつながりと絆を深める「ふれあいいきサロン」の充実や「ひとり暮らし高齢者の集い」の実施に取り組みます。
- 高齢者を敬い、地域で支える「80歳以上の高齢者への紅白饅頭配付」に取り組みます。
- 住民の交流を図り、見守りを充実するため「ふれあい食事サービス」を行います。
- 住み慣れた地域の中で安心して日常生活ができるように「緊急医療情報カード」を配付します。

重点目標2 「子どもの笑顔あふれるまち」

- 地域全体で子どもの安全を見守っていくため、新入学児童へ防犯ブザーを贈呈します。
- 子どもの健全育成を図るため、「チャレンジ小野っ子」に協力し、世代間の交流を支援します。
- 小・中学生の子どもが、安心して修学旅行に参加していただくための支援をします。

重点目標3 「安心と絆のあるまち」

- 地域の見守りを充実させるため、「福祉協力員」の理解促進と活動の充実を図ります。
- 地区社会福祉協議会の理解を広げていくため「広報紙」の充実に取り組みます。
- 安心・安全なまちを目指し、防災意識の向上と減災に向けた取り組みを検討します。
- 住民の支え合い、助け合い活動の充実を図るため、福祉に対する理解を深める研修会の開催を検討し、活動の賛同者を広げていきます。



配食サービスで届ける絵手紙